令和７年度

事 業 報 告 書

【本 編】

新潟コンベンションセンター等指定管理者

株式会社新潟メッセ

１　新潟コンベンションセンター等の利用実績

（１）催事の実施状況

令和７年度の催事開催件数は 775 件で、令和６年度と比較して開催件数で 7 件減となりました。その内訳は、展示ホール、メインホール、国際会議室のいずれかを利用する大規模催事の件数が前年度比 12 件減の 312 件、中小会議室のみを利用する催事件数は前年度比 5 件増の 463 件でした。

会場別の利用日数は、展示ホールが令和６年度と比較して 22 日減の 219 日となりました。会議場はメインホールが 3 日増、国際会議室が 18 日増となりました。

また、コンベンションセンターで開催された催事の来場数は昨年度比約 74 千人減の 576 千人となりました。

＜コンベンションセンターの利用日数＞

年度	令和6年度			令和7年度			増減		
利用可能日数	346日			347日					
区分	件数	日数	稼働率	件数	日数	稼働率	件数	日数	稼働率
展示ホール	71件	241日	69.7%	70件	219日	63.1%	△1件	△22日	△ 6.6P
メインホール	190件	249日	72.0%	183件	252日	72.6%	△7件	3日	0.6P
国際会議室	101件	212日	61.3%	105件	230日	66.3%	4件	18日	5.0P
大規模催事	324件	702日	67.6%	312件	701日	67.3%	△12件	△1日	△ 0.3P
中小会議室のみの催事	458件	—	—	463件	—	—	5件	—	—
総合計	782件	—	—	775件	—	—	△7件	—	—
来場者数	約650,000人			約575,900人			△約74,100人		

※「大規模催事」の利用日数は、展示ホール、メインホール、国際会議室の延べ利用日数
※「中小会議室のみ催事」の利用件数は公共空間を含む件数
※稼働率の小数点第2位以下は四捨五入
※稼働率は、利用可能日数はR7年度は347日、R6年度は346日として積算

（２）使用承認状況

令和７年度に使用承認を行った延べ件数は 840 件で、開催年度別でみると令和７年度開催催事が 506 件、1 年後の令和 8 年度開催催事が 288 件、2 年後の令和 9 年度開催催事が 46 件でした。

区分	令和6年度				令和7年度				前年度差			
	R6年度	R7年度	R8年度	件数	R7年度	R8年度	R9年度	件数	当該年	1年後	2年後	計
合計	536	261	34	831	506	288	46	840	▲ 30	27	12	9

※件数は、延べ承認件数

（３）新潟県万代島駐車場の利用状況

万代島駐車場の利用は、総出庫台数が前年度比 11,915 台増の 709,344 台となりました。

内訳は、時間貸台数が前年度比 2,375 台増の 332,545 台、定期出庫台数が 8,407 台増の 160,915 台、大型出庫台数が 184 台増の 1,291 台、無料出庫台数が 949 台増の 214,593 台でした。

時間貸台数、無料出庫台数が共に増加となり、総出庫台数が増加となりました。

＜駐車場の出庫台数＞

区分			令和6年度	令和7年度	増減
有料	普通車	時間貸	330,170台	332,545台	2,375
		定期貸	152,508台	160,915台	8,407
	大型車		1,107台	1,291台	184
	小計		483,785台	494,751台	10,966
無料			213,644台	214,593台	949
総出庫台数			697,429台	709,344台	11,915

２　新潟コンベンションセンター等の施設収支状況

（１）全般状況

新潟コンベンションセンター及び新潟県万代島駐車場、新潟港万代島緑地の 3 施設をあわせた収入額は 1,156,448 千円（税込）となり、支出額については 1,048,243 千円（税込）で、令和 7 年度の収支は 108,205 千円（税込）となりました。

なお、各部門別の収支状況の詳細については、別紙「令和 7 年度収支実績」※のとおりです。

※収支実績は売上戻り高を控除し、施設内部取引や駐車場回数券値引を非控除とした税込の収支額

（２）新潟コンベンションセンターの収支状況

利用料収入※は 532,736 千円で、コンサートの開催件数が減少したことなどにより、前年度比で 17,043 千円の減少となりました。

一方で、自主企画事業として実施した「錦鯉・金魚アクアリウム　in　ときメッセ」の成功により、自主企画事業収入は 140,050 千円（前年度比 127,640 千円増）となりました。また、その他収入のうち県工事による受託収入も前年度比 42,018 千円の増加となりました。

これにより、新潟コンベンションセンターの消費税込みの収入は 796,745 千円（前年度比 172,785 千円増）となり、施設利用料収入の減収分を自主企画事業収入及び受託収入の増収分を合わせることにより、全体として前年度を上回る収入を確保いたしました。

支出については、前年度に比べて人件費が 5,652 千円増の 158,722 千円、事業費が 97,693 千円増の 160,833 千円、維持管理費が 7,010 千円減の 419,485 千円、運営事務費が 28,326 千円増の 87,187 千円となり支出全体では 117,053 千円増の 1,048,243 千円となりました。

※自主企画事業等での内部取引額を含んだ収入額となります。

（３）新潟県万代島駐車場の収支状況

新潟県万代島駐車場の消費税込みの収入は 319,619 千円で、前年度比 29,352 千円の減収となりました。

このうち利用料金収入額※は 318,962 千円で、前年度と比較して 7,768 千円の減少となりました。利用料金の内訳は、時間貸売上が 7,897 千円減、大型売上が 386 千円増、定期券売上が 2,291 千円増、回数券売上が 2,548 千円減となりました。

支出については、新潟県への納付金が減少したことや中規模修繕等の費用が減少した結果、前年度比 9,971 千円減の 194,729 千円となりました。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引額を非控除とした税込の収入額となります。

（４）新潟港万代島緑地の収支状況

新潟港万代島緑地の消費税込みの収入は、自主企画事業収入の 96 千円及び自動販売機の販売手数料収入の 68 千円の合計 164 千円となり、昨年度と比較して 247 千円

の減収となりました。

支出については、巡回警備費を強化した結果、前年度比 2,363 千円増の 27,287 千円となりました。

３　維持管理業務等の実施状況

（１）新潟コンベンションセンターの管理業務

新潟コンベンションセンターにおける保守点検・設備運転監視、警備、清掃、植栽管理など各種施設管理業務については、基本協定書に定める仕様書並びに各種法令、規則、基準等に従って実施しました。

ア　修繕

令和 7 年度は経年劣化からが原因と思われる故障が多く、展示ホール搬出入口の不動作、パッキン類の劣化による漏水、自動ドア・扉の故障、熱源機器の故障など不具合が多数発生しており、今後もこの傾向は継続するものと思われます。定期点検や日常巡視点検などにより早期発見・早期補修に努めてまいります。

イ　維持管理

（ア）保守点検・設備運転監視業務

日常の巡視点検において、エネルギー使用量や運転状況などの記録を行うとともに機器の異音、異臭、異常温度などを確認し、設備に異常が無いか確認を行っています。

また、設備に応じて年間１～4 回の定期点検を実施し、より精密な点検を行うとともに、専門的知識や特種な測定器具が必要なものについては、製作者等に再委託をするなど設備の健全性維持に努めています。

（イ）警備業務

監視室における入出管理、防災盤や監視カメラの監視業務、館内及び屋外の巡回業務及び自動ドア等の施錠、解錠などの業務を行うほか、催事等により来場者が多く見込まれる場合には、臨時に人数を増やし館内巡視の強化や来場者の誘導などを行っています。

（ウ）清掃業務

床面の吸塵やごみ箱処理などの日常清掃、毎月 1 回の床面清掃や年数回の床面ワックス仕上げなどの定期清掃及びカーペットクリーニング、ガラス清掃、外壁清掃、外部ステンレス清掃などの特別清掃を実施しています。

また、コンサート等来場者が大勢見込まれる場合には、トイレの衛生環境の保持やごみ箱処理のほか、公共空間の清掃を入念に行っています。

（エ）植栽管理業務

剪定、芝刈り、除草、散水など、年間の回数を定めて実施しています。病害虫の駆除については、発生頻度や発生害虫の種類などに応じて回数を増やすなどの対応を取っています。

また、散水や病害虫駆除のための殺虫剤の散布は、早朝など通行者に支障が出ないよう行っています。

（オ）モニュメント管理業務

「灯台」（蔡國強氏）、「天秘」（安田侃氏）、「道に沿ってどこかに、幾つかの

色」（ダニエル・ビュレンヌ氏）、「オーシャンライト・ツリー2003」（レベッカ・ホーン氏）、「世界を反転させる 2003」（アニッシュ・カプーア氏）の５作品を維持管理しています。

各作品を維持するため専門的知識及び技術を有する業者に再委託しており、「灯台」については年 2 回、それ以外は年１回点検を実施しています。また「天日」については冬期間のカバーによる養生を追加実施しています。

（カ）その他

上記の定例的維持管理業務に加えて、次の取組にも力を入れました。

① 除雪対応

冬季において急な降雪に対応するため大型除雪車２台を予めレンタルし、必要に応じてオペレーターを手配して対応しました。

前日の降雪予想をもとに当日は万全の除雪体制を組み、万代島内の歩道除雪及び駐車場除雪に取り組みました。特に来場者の安全を確保するため、バス停からエントランスまでの動線及びＣ駐連絡デッキの除雪を重点的に取り組みました。

② 技術評価委員会

外部有識者３名の委員からなる技術評価委員会を開催し、維持保全業務の技術的評価のほか、今後の維持保全業務のあり方や技術的アドバイスなどをいただいています。

令和 7 年度は、基本協定に基づく維持保全が適切に実施されている旨の評価をいただくと共に地震、津波などの自然災害対応を再点検すること。今後の機器更新の際には時間的余裕をもって検討し高効率機器の導入、運営効率化や脱炭素化に向けた取り組みに配慮すること。公共空間におけるイベントや情報発信について新潟県や新潟市と連携して賑わい創出に取り組むことなど具体的で幅広いアドバイスをいただきました。

③ 職員による「外回り活動」

管理地及び周辺の環境美化と点検を目的に、週２回の職員による「外回り活動」を実施しました。歩道ブロックのぐらつきや樹木による通行支障などを確認するほかタバコの吸い殻やペットボトルなどのゴミの回収を行いました。

④ 県工事の受託等

県から受託し無停電電源更新工事、調整室エアコン更新工事、舞台照明卓更新工事の３件について発注及び工事監理を実施しました。また、県発注の照明 LED 化工事及び女子トイレ増設工事について催事とのスケジュール調整を実施し来場者の安全環境と施工者の作業環境の確保に努めました。

（２）新潟県万代島駐車場における管理業務の実施状況

仕様書に則り、新潟コンベンションセンターと連携した警備業務、各種設備・機器の保守点検業務、適切な植栽管理業務や除雪業務、清掃業務等を実施し、駐

車場利用者に安全に快適に利用していただけるように努めました。

ア　修繕

令和 7 年度は、駐車場周りの注意サインを強化しわかりやすいように取り組みました。また火災感知設備の不具合について早急に対応し、場内における車両の接触による施設の損傷について速やかな回復修繕を行いました。

イ　維持管理

（ア）　保守点検

駐車場管理設備、消防用設備及びエレベータ設備などの定期点検を行い、各設備の機能維持に努めました。特に駐車場管理設備についてエラー動作が生じた際は、原因究明や復旧など迅速に対応にしました。

（イ）　警備業務

駐車場管理室における入出庫車監視、防災盤や監視カメラの監視業務、館内及び屋外の巡回業務、料金の回収などの業務を行うほか、料金の支払い等に伴うトラブル対応などの業務を行いました。

催事等により来場者が多く見込まれる場合には、臨時警備を増員し駐車場の入出庫の誘導や精算補助など出庫時の渋滞緩和を図り、おもいやり駐車場に利用者証保持者が利用できなくなることを防ぐための警備を行いました。

（ウ）　清掃業務

立体駐車場及び佐渡汽船への連絡デッキの床面清掃、D駐車場及び立体駐車場のトイレ清掃を実施しました。

（エ）　植栽管理業務

新潟コンベンションセンター、港湾緑地と併せ計画的に実施しました。

（オ）　その他

① 除雪対応

新潟コンベンションセンターと連携し、大型機械による除雪と小型除雪機による歩道除雪を実施しました。駐車場の円滑な運用と来場者の安全を確保するため、各駐車場内の駐車スペース及び出入口付近、歩道などを重点的に除雪しました。

② 火災時の初動対応訓練

消防設備点検の実施時に、駐車場勤務員による火災検知確認、火災箇所への急行及び初期消火対応の訓練を実施しました。

③ 駐車場満空情報発信システムの活用

ホームページ上で万代島駐車場の満空情報を発信するとともに、コンサートなど駐車場の混雑や満車が予想される場合は早めの告知に努めています。

（３）新潟港港湾緑地における管理業務の実施状況

ア　植栽の剪定や水やり、枯れ枝や落ち葉の整理、除草など適切な植栽管理業務を実施しています。

イ　不特定多数の来場者が快適に利用していただけるよう公衆トイレの清掃業務を実施しました。排水管系統に詰まりが見られたため汚水桝の確認を実施し入り込んだ根の除去を行いました。

ウ　犯罪・迷惑行為の防止のため、警備業務の実施やサインによる注意喚起を実施しました。緑地トイレでの呼び出しについて速やかに対応しました。

４　運営面における取組（事業計画書記載の実施状況）

Ⅰ　施設の利用促進と満足度の向上

（１）目標稼働率の達成状況について

利用可能日数			347日	稼働率実績	未達ポイント
施設	目標稼働率	目標稼働日数	稼働日数実績		
展示	66%	230日	219日	63.1%	2.9%
メイン		236日	252日		
国際		222日	230日		
3施設合計	66%	688日	701日	67.3%	-

３施設（展示ホール、メインホール、国際会議室）平均の稼働率は 67.3％と目標稼働率の 66％を上回りましたが、展示ホール単体の稼働率は 63.1%と目標稼働率 66%に届きませんでした。

展示ホールの目標未達要因として、大型催事のキャンセルや長期開催催事の開催期間の短縮が発生したことにあります。発生した空き枠に対しては、カフェフェスなどの代替催事の誘致や自主企画イベントの実施など、最大限のリカバリー策を講じてまいりましたが、完全に補完するには至りませんでした。

今後の対策として、まずは催事情報の早期把握に努め、キャンセルの兆候がある場合は迅速に代替催事の誘致活動を開始する体制を強化いたします。また、従来の大型催事だけでなく、直近の空き枠を活用した自主企画イベントの開催や地域イベントの掘り起こしなど、リードタイムの短い案件を確実に取り込む機動的な営業活動を展開し、稼働率の向上を図ってまいります。

（２）ＭＩＣＥ誘致及び誘致への取組について

① B to B 展示会の誘致

展示会主催者へのトップセールスにより、「AGRI EXPO 新潟 2026」の誘致・開催を実現しました。2 月 25 日（水）～27 日（金）に開催され、延べ 7,500 人が来場しました。同展示会は令和 8 年度・9 年度の開催も予定しています。

今後も新たな分野の展示会の開催実現に向けて積極的に誘致活動を行ってまいります。

② 周年企業への誘致

新潟コンベンションセンター品質の会場運営とホテル品質のケータリングサービスの相乗効果による最高品質のサービス提供を武器に、周年となる地元企

業への積極的なセールス活動を実施しました。

今年度のセールス活動では、今後 60 周年を迎える企業及び 90 周年を迎える企業の利用が決定しました。引き続きセールス活動を継続してまいります。

③ 休眠顧客及び新規顧客への誘致営業

コロナ禍により開催中止となっている休眠顧客や、希望日程・会場に空きがなく未成立となった顧客に対し、今一度アプローチを行い、催事開催の実現を目指しました。

その結果、令和 8 年度に中古自動車の展示会、ガス機器の展示会の利用が決定しました。引き続き、休眠顧客への誘致活動を行ってまいります。

また、新規催事の開拓において、東北を中心に展開されている B to C イベント「カフェフェス」の新潟初開催を誘致いたしました。

初めての新潟開催にあたり、当館より運営上の提案や助言を積極的に行い、主催者との強固な信頼関係を構築いたしました。その結果、3 月 14 日・15 日の開催では延べ 4,000 人を超える来場を記録し、主催者から高い評価を得るとともに、令和 8 年度の開催継続についても前向きな検討をいただいております。

今後も全国各地のイベント情報を収集し、新潟未開催の有望な催事に対して、積極的な誘致活動を展開してまいります。

（3）サービス向上への取り組み

① ホームページのリニューアル

朱鷺メッセのホームページをリニューアルし、利用者にとって見やすくわかりやすい環境を整備いたしました。主催者向けには簡易料金シミュレーション機能の新規搭載、来場者向けには自主イベント情報の表示方法改善等、利用者層に応じた複数の改善を実施し、施設利用検討の利便性向上と自主イベントの訴求強化を図りました。

② SNS の活用

SNS を積極的に活用し、自主企画事業の PR、イベント情報発信、施設紹介など、朱鷺メッセへの来館動機を高める情報を継続的に発信いたしました。なお、令和 7 年度の各 SNS 媒体の投稿数は以下のとおりです。

- Facebook：128 回
- X：128 回
- Instagram：214 回（内ストーリー：86 回）
- LINE：46 回

③ 観光案内コーナーのリニューアル

来場者の利便性と情報発信力の向上を目的に、エントランスに設置している観光案内コーナーをリニューアルいたしました。交通広場からの視認性向上を図るとともにポスター掲示面積を拡大するレイアウト変更を行い、館内外の動線を意識した周知体制を構築するなど、県内観光の振興に寄与してまいります。

Ⅱ　賑わいづくりへの取組

一年を通して楽しめる空間づくりを目指し、公共空間や緑地帯の活用に努めた

（１）自主企画事業の開催

① 夏休み企画「錦鯉・金魚アクアリウム in ときメッセ」（8 月 1 日～24 日）

当社、新潟日報社、TeNY テレビ新潟の主催により、新潟が誇る鑑賞魚「錦鯉」の新たな魅力発信、錦鯉文化の啓発、シビックプライドの醸成をコンセプトとした夏休みロングランイベントを実施いたしました。アクアリウム展示、アート性の高い金魚水槽演出、光・音による演出を融合させた多彩な展示構成により、延べ 76,000 人以上の動員を実現いたしました。

県内外の幅広い年齢層のご来場者に「水中の夏祭り」をテーマとした空間で、思い思いに写真撮影をされ、深く没入していただく様子が見られ、大盛況のうちに終了いたしました。本イベントは朱鷺メッセ及び万代島地域の賑わいに大きく貢献いたしました。

② 新潟ビッグフリーマーケット（11 月 16 日）

開業当初から継続実施しているイベントであり、県内テレビ局と共催で１１月に開催しました。天候に左右されない強みを生かし、出店数約 390 小間、来場者数 5,700 人（前年比+1,400 名）の実績を上げました。

③ 新潟で撮影された映画のポスター展と映画音楽コンサート（2 月 10 日～16 日）

新潟県映画史「みる かたる つくる にいがた映画 130 年史」の発行を記念し、新潟・市民映画館シネ・ウィンドと共催で、昭和から令和まで新潟で撮影された映画のポスター展と映画音楽のミニコンサートを開催しました。

新潟がロケ地となった現存する貴重な映画ポスター、約 30 点をアトリウム特設コーナーに掲示。ポスターとロケ地を紹介したパネルを前に、来場した多くの方々が懐かしそうな表情で見入っていました。また、映画音楽のミニコンサートでは、新潟を中心に県外でも活動するミュージシャンを迎え 150 人の聴衆を集めました。

（２）公共空間

① アトリウムピアノの活用

公共空間の賑わい創出を目的に、誰でも自由に弾けるピアノをアトリウムに設置しています。通年を通し多くの方々が思い思いの曲を弾いて楽しんでいました。また、令和 3 年より継続して開催している自主事業の県内在住ピアニストによる「アトリウムランチタイムコンサート」も今年度は 19 回開催し、延べ約 1,000 人の聴衆を集め、累計で 122 回の開催を迎えました。

その他、このピアノを国際会議室に移動し、市民・県民の皆様が日頃の練習の成果を披露し、いつもと違う贅沢な空間でピアノを独占して弾くことができるピアノの弾き合い会、「マリンホールピアノ」も開催しました。

② 館内装飾

■ 入学式に彩りを添える桜及びお祝いメッセージ大型バナー展示（４月）

■ 涼を感じるエスプラナードの吹流し装飾（６月～７月）

■ 園児による七夕飾りの展示（７月）
■ 高さ７ｍの大型クリスマスツリーの展示（11 月～12 月）
■ アトリウム・エスプラナードでのウィンターイルミネーション装飾 （11 月～２月）
■ 高校生大型書道作品の展示（１月）
■ アトリウムダブルスキン内での書道短歌作品の展示（１月～２月）
■ ひな人形７段飾りと生け花作品の展示（２月～３月）
■ 桜のメッセージツリー装飾（３月）
■ エントランスでの草月流生け花作品による装飾（通年）

③ 信濃川右岸連携事業の開催

新潟日報社、万代シテイ商店街振興組合、NST 及び当社の４社で信濃川右岸の賑わい創出に取り組む「信濃川右岸連携事業」を以下の通り実施しました。

■ 万代・万代島のあなたのおすすめスポットを教えて！
Instagram フォロー＆投稿キャンペーン（年２回開催）
■ 信濃川右岸クイズラリー
■ クリスマスイルミネーション（光の川)

参加者が万代島～万代エリアを楽しく周遊できるよう、4 地点を回っての謎解きやスタンプラリー、Instagram 投稿キャンペーンを実施し、万代島地域の連携した賑わいづくりに寄与しました。

④ アトリウム県民ギャラリーの活用

朱鷺メッセのアトリウムを県民が気軽に訪れ、楽しめる場所とするため、県民の創作作品を展示、紹介しています。

令和 7 年度も昨年度に引き続き、新潟県主催の「新潟※（コメジルシ）プロジェクト」にて実施されている「＃新潟のコメジルシ」フォトコンテスト入賞作品を展示した。定期的に更新を行い、県内外からの来場者に対し新潟の魅力をアピールしました。

（３）緑地帯の利活用

① リバーフロントパークの賑わい創出

県より整備いただいたイベントスペースを使用して、リバーフロントパークの賑わい創出を行うべくキッチンカーの出店募集を継続して行っています。

天候を考慮し 4 月から 11 月の期間で募集を行い、延べ 9 日間 21 店（台）の出店を受け付け、約 2,000 人が来場し新たな賑わいの創出を行いました。

② 屋外イルミネーション

彩れ！「にいがた 2km」万代島光の航路 1 マイル Voyage2025 の点灯（９月～11 月）

令和 3 年よりスタートした屋外イルミネーション「1 マイル Voyage」が 5 年目を迎えました。信濃川沿いロングプロムナード及び緑地広場の約 700ｍを LED で彩り、万代島の事業者（佐渡汽船、ホテル日航新潟、万代島ビルディング、大かま、万代テラス）へも期間中のイルミネーション点灯を呼びかけ、万代島の夜間の賑わいを創出し、延べ約 3 万人の方々に来場頂きました。

また、「にいがた 2 ㎞」エリアの回遊性向上や来訪者の滞在時間延長を目的に、「NIIGATA 光のページェント」と連携した『光のバトン』（イルミネーションを延伸させる取組、1 マイル Voyage 終了後に光のページェント点灯がスタート）や、新潟市へ協力要請しながら、イルミネーション点灯の輪を広げるべく、期間中に「にいがた 2㎞」エリア内を中心に 24 の事業者と連携して「平和への祈願」をテーマにした『ブルーイルミネーション』の点灯も行いました。

③ 朱鷺メッセフラワープロジェクト

リバーフロントパークが県民に広く親しまれ、気軽に来訪できる場所を目指し、朱鷺メッセ「フラワープロジェクト」と名付け、県民参加で四季折々の花が咲き誇る美しい空間づくりを行いました。リバーフロントパークに花壇を整備し、花を植えるイベントを新潟市ボランティアセンター協力のもと実施し、令和７年度中は２回実施しました。イベントの参加者からは、気軽に土に触れる機会となったと非常に好評であった他、リバーフロントパークを訪れる方々が、植えられた花を思い思いに写真撮影する姿が多く見受けられました。

Ⅲ　その他

（１）緊急時の対応及び事故予防

防火・防災対策の一環として万代島ビルと合同で２回、当社単独で４回の消防訓練及び救急訓練を行いました。

合同訓練は火災発生時に来場者を混乱なく安全に誘導するとともに、社員自らも安全に避難することを目的に毎年実施しているものです。

令和７年度は、火災と津波を想定した訓練を実施し、初期消火、避難誘導、避難の流れで実施しました。

（２）SDGs への取り組み

目標 11「住み続けられるまちづくり」を中心に活動を行いました。全国規模のコンベンションの誘致開催を通じて、新潟の拠点性の向上を図り、新潟の魅力を全国に発信するとともに、地域経済の発展と住み続けられるまちづくりに貢献することはもちろん、毎週２回の外回り活動によるゴミ拾いや、“光の航路「1 マイル Voyage」プロジェクト”によるイルミネーションの設置など、環境美化及び魅力ある都市空間の創出を行いました。また、トキの森クレジットの購入を通じてCO_2の削減に貢献しました。

５　令和７年度の評価

（１）自己評価

ア　施設稼働について

令和７年度は会議場の稼働が堅調に推移しました。大規模催事の学会・大会が計32件（前年度比６件増）と伸長しました。これはリアル開催への回帰潮流に加え、当館の主催者支援が評価された結果と言えます。また、大規模学会の増加に伴い、全体の催事件数自体は減少したものの、一催事あたりの利用会場及び利用日数が増加したことで、会議場全体の稼働日数は前年度を上回る結果となりました。

展示ホールについては、展示・販売会の開催が 9 件（前年度比 4 件増）、学会・大会での利用が計 10 件（前年度比 4 件増）となるなど、積極的な誘致営業が着実に成果に結びつきました。一方で、開催期間の短縮や過去最多を記録した令和６年度（18 件）に比べコンサートの開催が 10 件（平年並み）に留まったこと等により、展示ホール全体の稼働日数は減少いたしました。

以上の結果、展示ホール、メインホール、国際会議室の 3 施設合計の稼働率は67.3％で目標稼働率の 66％を上回ることができましたが、展示ホール単体の稼働率は目標稼働率の 66％には届かず 63.1％となりました。

令和 8 年度については、3 施設平均の稼働率はもとより、展示ホール単体の稼働率についても、確実に目標を達成できるよう、市場動向を的確に捉えた誘致活動を展開してまいります。今後も全社一丸となり、新潟コンベンションセンターの安定的な運営とさらなる活性化に邁進してまいります。

イ　安全安心な維持管理

施設設備の不具合等については、施設管理担当者や委託業者による定期的な点検はもとより、催事の準備・開催時などでも担当社員や設営業者などが日常的にチェックしています。異常が発見された場合は、施設管理部署で修繕等の進捗状況を管理し、適切に対応しています。

また、毎週行う社員の外回り活動や火元責任者による防火防災点検において、不具合等を発見すれば必要な対策を講ずるなど、利用者に安全安心な施設設備を提供できるよう適切な維持管理に努めています。

ウ　主催者ニーズを的確に把握したサービスの提供

主催者のニーズを把握し、催事に必要な業務手配や運営アドバイスを適切に行うことで、社員の対応、利用満足度、使い勝手等において高い評価を得ました。

また、行き届かなかった点にかかる改善等を望む建設的な意見には、会社全体で情報共有を行い、速やかに改善策を講じるように心掛けています。

今後も引き続き、主催者にも来場者にも当館に満足をいただけるようアンケート結果を真摯に受けとめ、サービス向上に取り組みます。

（２）外部評価

ア　技術評価委委員会

建築及び施設設備の維持保全について、外部の専門家から評価をしていただく「技術評価委員会」を毎年開催しています。令和 7 年度も適切な施設の維持保全が行われている旨の評価をいただいたほか、今後の維持管理に向けた技術的助言をいただきました。この助言を活用し今後とも適切な施設管理を行っていきます。

イ　ご利用者（主催者）アンケート

催事主催者向けに実施している「利用者アンケート」の令和７年度の回収数は 224 件でした。令和６年度の回収数と比較すると 8 件減となりました。また、回収率についても 33.7%と昨年度より 1.2 ポイント減となりましたが、高い回収率となっております。

なお、評価については各カテゴリー共に高評価となっており、「交通アクセス」、「駐車場」といったインフラ面については「よい（満足)」「まあよい（まあ満足)」の合計がそれぞれ 87.5%、89.4%となっており、とくに社員の対応といったソフト面における利用満足度については、「よい（満足)」「まあよい（まあ満足)」の合計が 98.7%となり、総合的な満足度については「よい（満足)」「まあよい（まあ満足)」の合計が 99.1%と、コンベンションセンターを利用したお客様から非常に高い評価を得ることができました。この結果を大きな励みとし、今後も主催者の皆様から信頼され、選ばれる施設であり続けられるよう、更なるサービスの向上と円滑な管理運営に邁進してまいります。

ウ　ご来場者アンケート

朱鷺メッセへの来場者を対象としたアンケート調査について、館内への回収箱設置および、館内 9 カ所への二次元コード掲示によるオンライン回答の周知に努めてまいりました。

本年度の回答数は、オンライン回答 124 件（前年度比 18 件減)、紙ベース回答 34 件（前年度比 14 件減）の合計 158 件となり、総数では前年度より 32 件減少いたしました。なお、回答の約 8 割がオンライン経由となっております。

アンケート結果のうち、「満足・まあ満足」の合計値については、「快適さ（過ごしやすさ)」および「利用交通機関の利便性」が前年度より微増した一方で、「館内の案内表示」および「休憩コーナー・自販機」については微減となりました。

特に、昨年度は評価の高かった、「館内の案内表示」の評価が前年度を下回った結果を真摯に受け止め、自由意見等の内容を精査し、来場者目線に立った分かりやすい案内方法の検討および改善に努めてまいります。

■ 別添資料

・別紙２「ご利用者アンケート集計結果【令和 7 年度】」

・別紙３「ご来場者アンケート集計結果【令和 7 年度】」

６　今後の課題・懸案事項等

（１）目標稼働率の確実な達成

新しい指定管理期間の１年目である令和７年度において、主要３施設平均の稼働率は目標達成となった一方で、展示ホール単体では目標未達となりました。令和８年度以降は２年先、３年先の誘致についてはもちろん、予期せぬキャンセル発生時についても、代替催事の誘致や自主企画イベントの開催など、迅速な営業活動を実施し、確実な目標達成を目指します。

（２）朱鷺メッセでの賑わい創出

朱鷺メッセの公共空間における日常的な賑わいづくりのための、今までの取組をさらにブラッシュアップし実施しました。館内だけにとどまらずリバーフロントパークにおいても、新潟県が整備を行ったイベントスペースを利用してキッチンカーの出展募集を行うなど賑わい創出に努めました。

今後の課題として更なる賑わい創出を図るため、メディアや動員力のある団体との共催事業の検討や自主事業・広報活動の取り組みを強化します。万代島の事業者やにいがた 2km エリアを中心とした近隣事業者との連携を深め、共通の取組の推進を行うことにより、朱鷺メッセや万代島の来訪者を増やし、「人々が集い、にぎわいと新しい価値を創造する“万代島”」を目指します。

（３）設備の老朽化への対応と戦略的修繕の検討

開業から 23 年が経過し、建物および諸設備にさまざまな不具合が発生しています。運営面においては、設備の故障や不具合の発生頻度が高まっている現状を受け、速やかな修繕対応や代替策を講じることで、催事運営に極力影響が出ないよう万全を期すことが重要となっています。

施設維持の状況としては、主要設備である空調熱源機器についてオーバーホールに近い修繕を重ねることで維持しています。その他設備についても電子基板やパッキン類の劣化による故障も予想されます。そのため施設所有者である新潟県と現状を共有しながら大規模改修計画について検討を進めていく必要があります。

また、誘致面においては、新潟県外の最新設備を備えた新興施設やリニューアル施設のアドバンテージに対抗できる営業手法を検討するとともに、修繕・更新の機会を捉えた最新設備の導入を図るなど、施設競争力を維持・向上させる「攻め」の視点が不可欠であると考えています。

（４）緊急事態発生時の対応

災害発生時など様々な危機に対して、「初動対応マニュアル」に沿って全スタッフが緊急時に適切な対応がとれるように引き続き訓練を行います。

今後は、津波警報発表の際は、来場者を安全に誘導するよう主催者とも打合せし、必要な設備や資材について検討して参ります。

〈別紙〉

令和7年度　収支実績

（収入）　　単位：千円　税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料収入	532,736	318,692	0	851,428
2 自主企画事業収入	140,050	0	96	140,146
3 指定管理料収入	33,726	3,935	2,259	39,920
4 その他収入	123,959	927	68	124,954
収入計　A	830,471	323,554	2,423	1,156,448

（支出）

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	158,722	38,479	3,377	200,578
2 事業費	160,833	19,300	7	180,140
3 維持管理費	419,485	126,056	17,641	563,182
4 運営事務費	87,187	10,894	6,262	104,343
支出計　B	826,227	194,729	27,287	1,048,243
収支　C（A-B）	4,244	128,825	△ 24,864	108,205

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込の額となります。

令和7年度　収支実績（内訳）

（収入）　　単位：千円　税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料収入	532,736	318,692	0	851,428
2 自主企画事業収入	140,050	0	96	140,146
3 その他収入	123,959	927	68	124,954
収入計　A	796,745	319,619	164	1,116,528

（支出）

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	158,722	38,479	3,377	200,578
2 事業費	160,833	19,300	7	180,140
自主企画事業	133,502	0	7	133,509
新潟県納付金	0	19,300	0	19,300
その他事業	27,331	0	0	27,331
3 維持管理費	419,485	126,056	17,641	563,182
計画的修繕経費	36,344	3,935	2,259	42,538
維持管理業務経費	383,141	122,121	15,382	520,644
4 運営事務費	87,187	10,894	6,262	104,343
誘致広報業務	19,910	150	18	20,078
事業所税	13,473	0	0	13,473
その他運営事務費	53,804	10,744	6,244	70,792
支出計　B	826,227	194,729	27,287	1,048,243
指定管理料を除いた収支　C（A－B）	△ 29,482	124,890	△ 27,123	68,285
指定管理料　D	33,726	3,935	2,259	39,920
指定管理料を含めた収支　E（C＋D）	4,244	128,825	△ 24,864	108,205

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込の額となります。